

**BEST AVAILABLE COPY**

**BEST AVAILABLE COPY**

特開平3-60337(4)

的に大電流を必要とする場合でも、誤動作を起すことなく二次電池25の定電圧出力を確保できる。

(発明の効果)

本発明に係る電源装置は以上説明したように構成したので以下の効果を奏する。

①入電 2 層が得られ、かつ、二次電池に比べて自己放電が小さい一次電池を用いて二次電池の充電を行うものであるため、充電が容易である効果がある。

②一次電池は単位体積、単位面積当りの体積エネルギー（たとえば、単三形のアルカリ電池の場合、1000mAh以上）が二次電池よりも数倍大きい（たとえば、ニッケル電池の場合、700mAh最大）ため、電源装置を従来の比べて小型にしたとしても従来の同等の電圧供給性能を確保することができ。

③入電で充電出力を用いることのできない場合、充電回路を交差するのみで定電圧出力を確保できる。

④一次電池は従来のより小電流値で充電に用いるので、経済的である。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明に係る電源装置の第1実施例を示すブロック図。

第2図は第1図の電圧検出回路の作用を説明するための説明図。

第3図は本発明に係る電源装置の第2実施例を示すブロック図。

第4図は一次電池と二次電池との放電特性を説明するための説明図。

である。

1…電子スチルカメラの電源装置

17…定電圧電源回路

24…一次電池

25…二次電池

26…オン・オフスイッチ

27…充電回路

29…電圧検出回路

30…急速充電回路

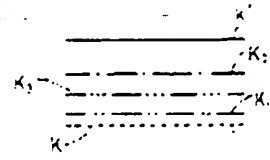
発明を実施するための最良の形態

本発明は、株式会社パナソニックによって

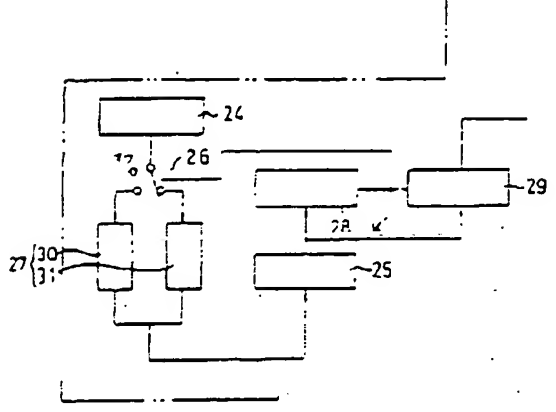
特許第 1000000 号に開示されている。



第 2 図



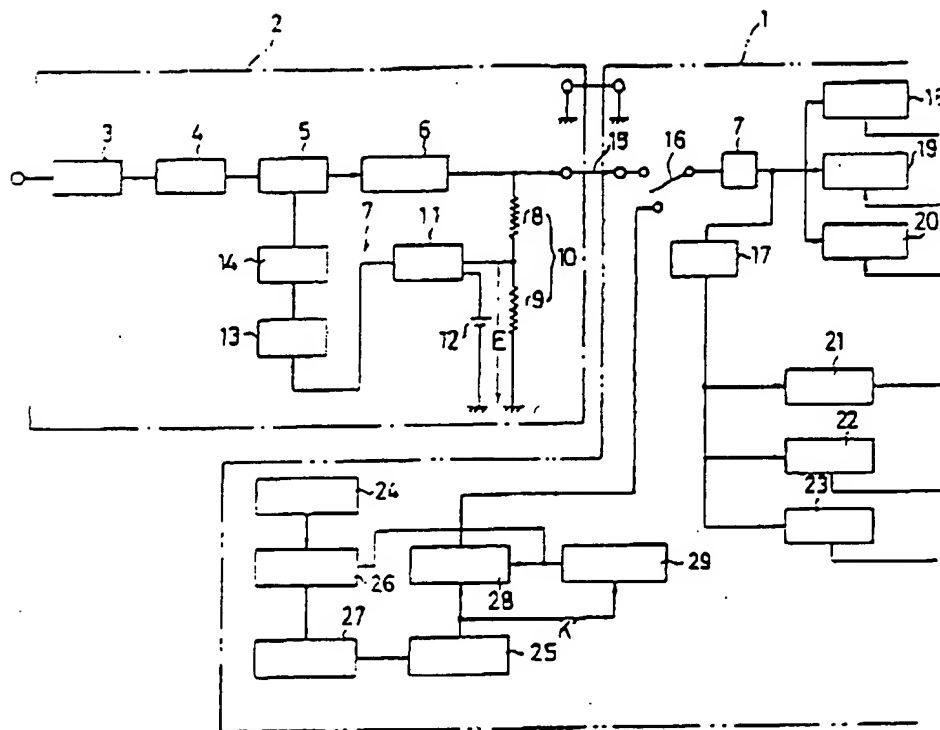
第 3 図



BEST AVAILABLE COPY

特開平3-60337(5)

第 1 図



BEST AVAILABLE COPY

第 4 図

